



令和3年8月18日
沖縄地区税関

税関は来年150周年を迎えます

バナナの輸入



**2020年は巣ごもり需要で
数量・金額が過去最高！**



はじめに

夏真っ盛りです。8月7日はバ(8)ナナ(7)の語呂合わせでバナナの日。手軽に食べることができて身近な果物の一つであるバナナは、その栄養価やダイエット効果が期待されて、これまでに何度かバナナブームが起こりました。最近では2020年に流行したバナナジュースがみなさんの記憶に新しいのではないのでしょうか。

ところがバナナは熱帯産の果物であるため、日本では沖縄県や鹿児島県など生産地が一部に限られてしまい、ほぼ100%を輸入に頼っている果物です。(注:「農林水産省特産果樹生産出荷実績調査」のバナナ収穫量を基に算出)

2020年はコロナ禍の巣ごもり需要の後押しもあって、沖縄では数量・金額ともに1972年の本土復帰以降、過去最高を記録しました。今回はバナナの輸入(概況品コード:0110103「果実(バナナ(生鮮))」)について特集します。



ティーダくん

カスタム君、沖縄ではどんな種類のバナナが輸入されているの？

「キャベンディッシュ」という品種がとても多いんだよ。
(参考:農林水産省植物検疫部)



カスタム君



キャベン・・・?!



取材協力:那覇青果物卸商業協同組合
(AEO・特定保税承認者)



お店でよく見かけるこんなバナナだよ。



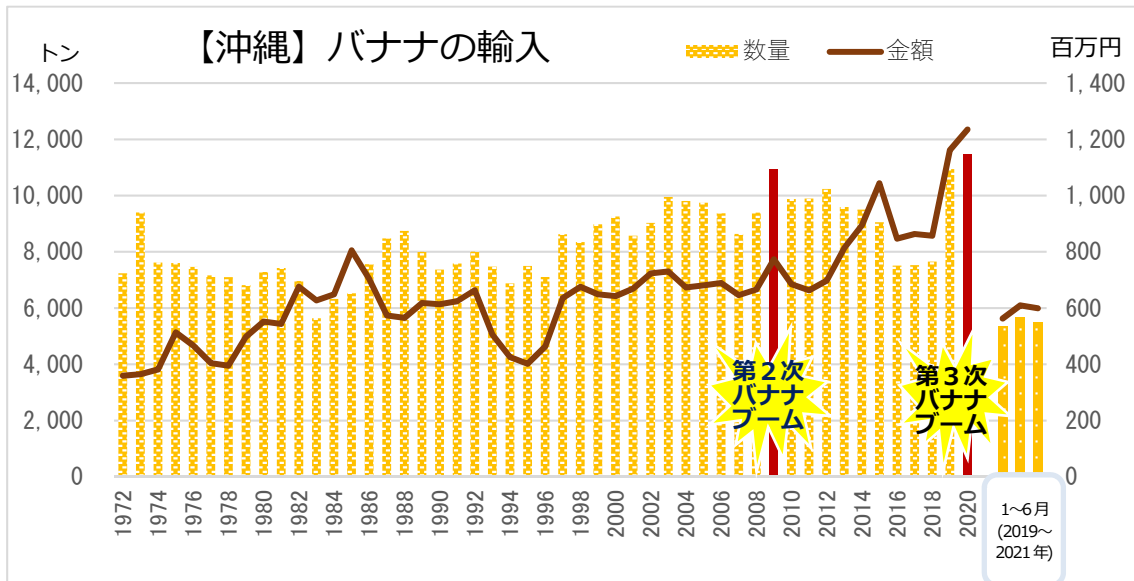
バナナは害虫のつきにくい青い状態で輸入され、室(むろ)と呼ばれる部屋で追熟させてから店頭で並ぶんだ。



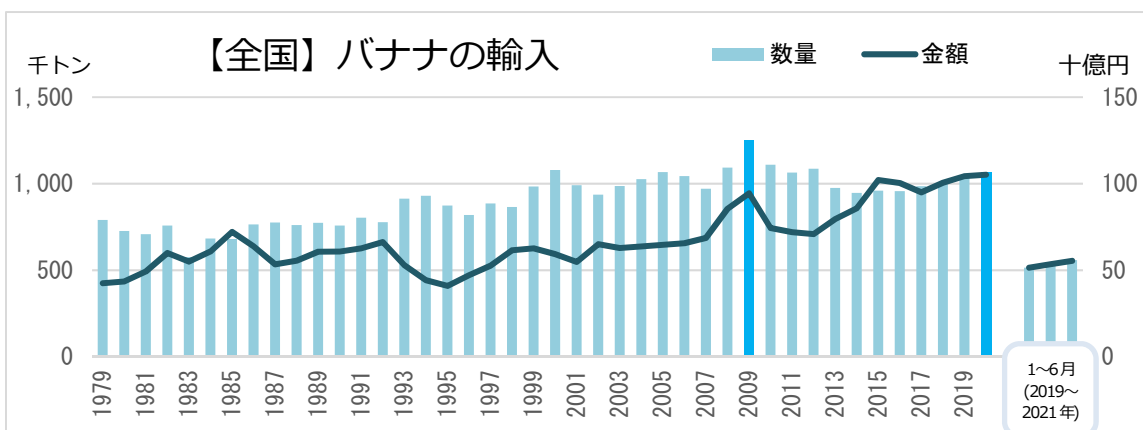
なるほど～。よし!バナナのこと、もっと調べてみるね!

輸入推移

沖縄県のバナナの輸入は本土復帰の1972年に、数量7,233トン、金額3億59百万円でしたが、朝食バナナダイエットが流行した第2次バナナブーム終盤の2009年には数量10,923トン、金額7億73百万円となりました。そして、バナナ健康効果が見直され、バナナジュースが話題になるなど、現在、第3次バナナブームと言われており、2020年に数量11,473トン、金額12億35百万円とどちらも過去最高を更新しました。



全国でも、2020年には金額が1052億13百万円と過去最高を記録しています。
(注：過去最高とは1979年以降を比較したものです。)

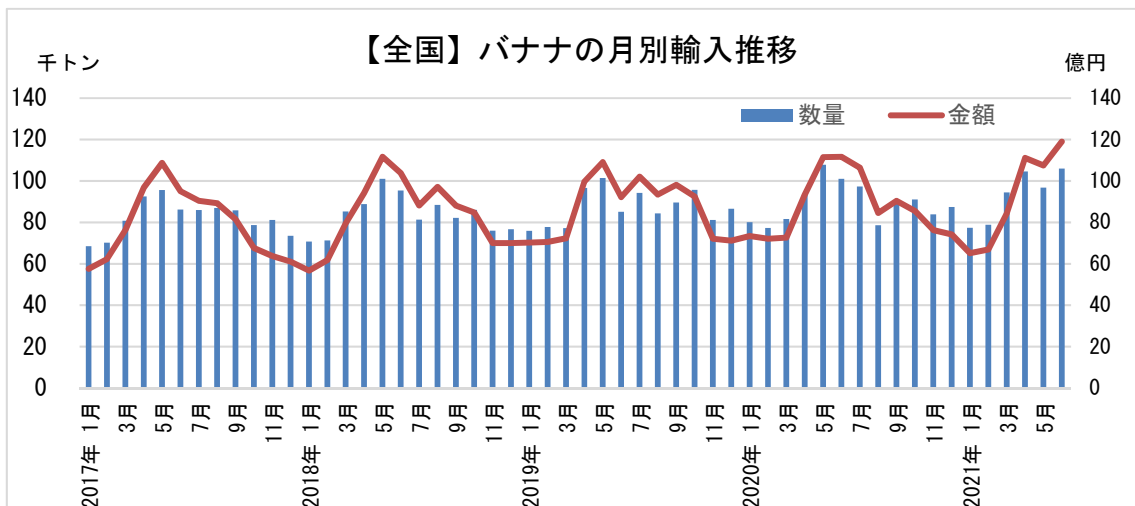


※第1次バナナブームは、バナナの輸入が自由化された1963年で、バナナが手に入りやすくなり手軽に食べられるようになりました。

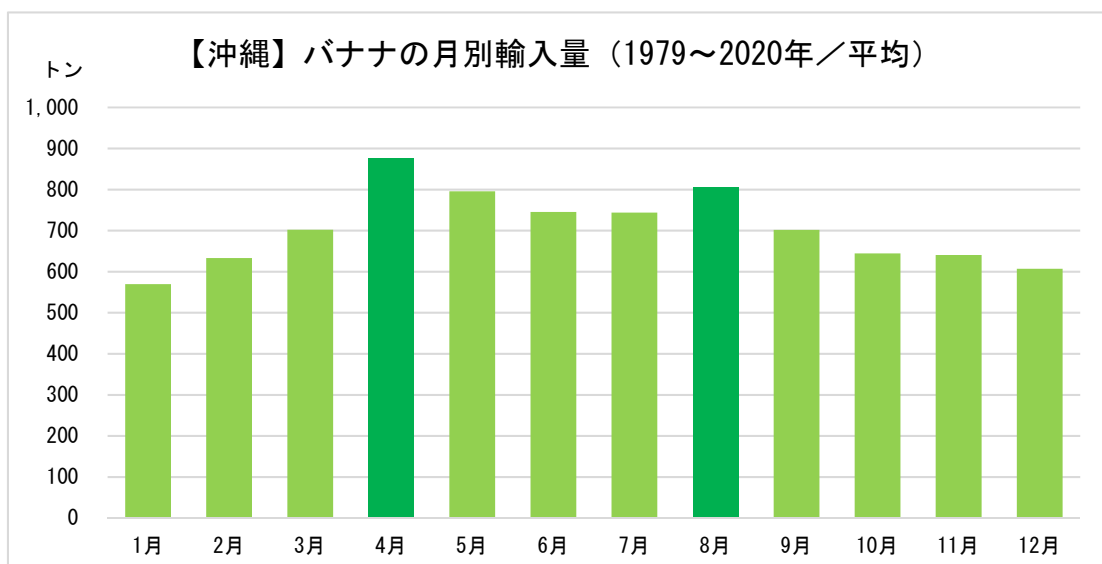
※2019年以前は確定値、2020年は確々報値、2021年1月～5月は確報値、2021年6月は9桁速報値です。

月別動向

バナナは栽培に適した地域で一年中収穫できるため、年間を通して一定量の輸入があります。全国の月別輸入推移をみると、毎年4～6月頃にピークを迎え、その後段々減少し、1月頃から増加に転じる傾向があります。比較的他の果物が少ない時期にバナナの購入量が増えていると考えられます。また、バナナは輸入する時期によって適用される関税率が異なるため、その影響も受けているといえます。



沖縄県の月別輸入量（平均値）をみると、4月と8月にピークがあります。これは、年間行事として、4月に清明祭（シーミー）、8月ごろに旧盆があることから、お供え用果物として定番のバナナの需要を反映していると考えられます。



※季節関税は、国産品を保護するため、農作物など季節性のある国産品が出回る時期に競合する輸入品に対して高い関税を課すものです。

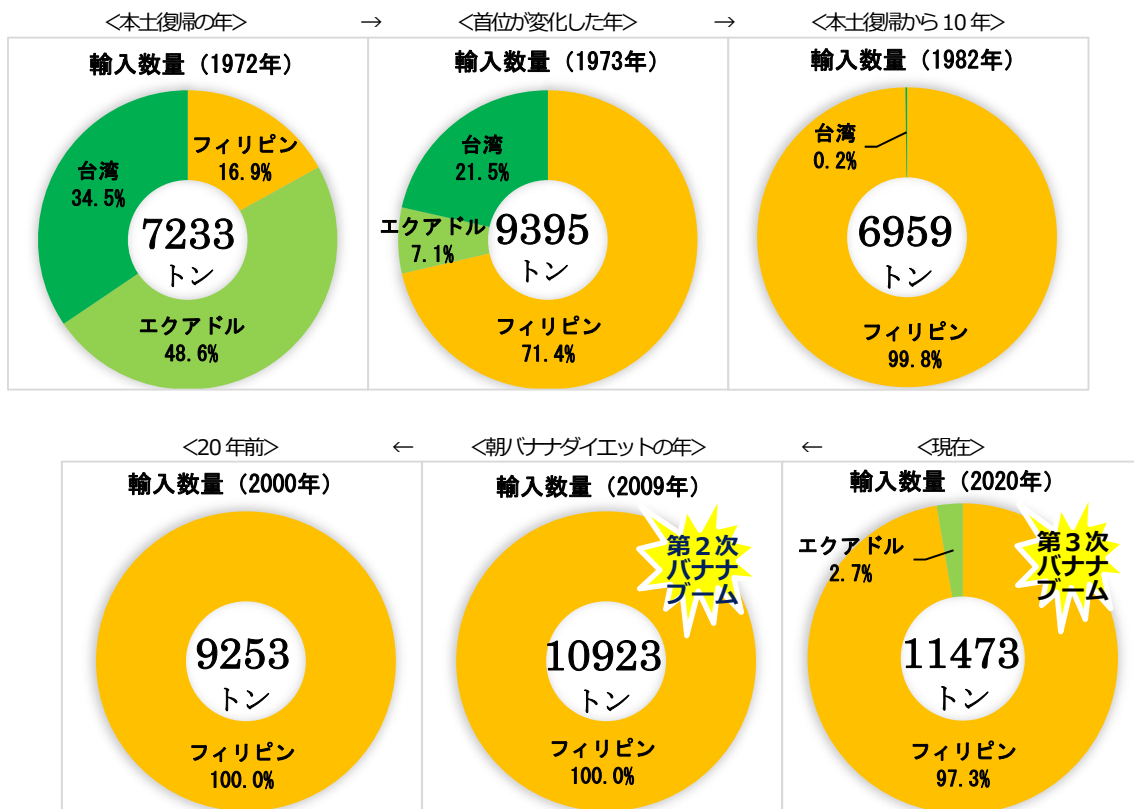
(例：バナナのWTO協定税率 4月1日～9月30日までは20%、他の時期は25%)

国・地域別推移

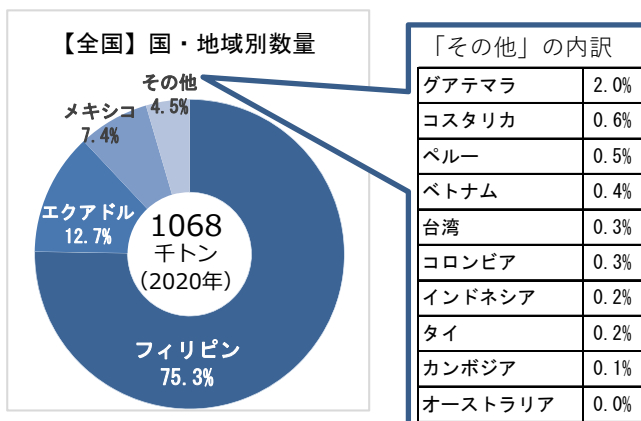
沖縄県におけるバナナの輸入は、本土復帰の1972年より前から行われていたようで、その頃は、お隣の台湾産バナナが主流だったようです。1972年は、輸入数量7,233トンのうち、エクアドル産が約半分の48.6%を占め、続いて台湾産が34.5%、フィリピン産が16.9%でした。

翌1973年には、輸入数量9,395トンのうちフィリピンが71.4%を占め、以降現在まで国別では数量・金額ともにフィリピンの首位が続いています。

【沖縄】国・地域別輸入数量



全国においても、検索可能な1979年以降現在まで、バナナの輸入数量・金額ともにフィリピンが42年連続で首位となっています。



「その他」の内訳

グアテマラ	2.0%
コスタリカ	0.6%
ペルー	0.5%
ベトナム	0.4%
台湾	0.3%
コロンビア	0.3%
インドネシア	0.2%
タイ	0.2%
カンボジア	0.1%
オーストラリア	0.0%

生産量上位の国は自国内での消費が多いようです。

〈参考〉バナナ生産量上位10か国(2019)

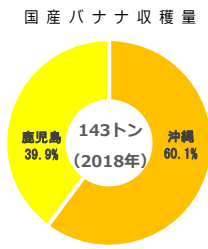
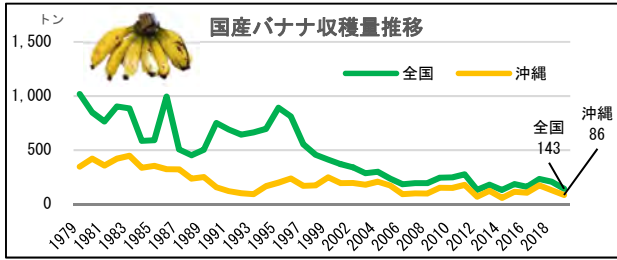
順位	国名	生産量 (トン)
1	インド	30,460,000
2	中国	11,655,700
3	インドネシア	7,280,659
4	ブラジル	6,812,708
5	エクアドル	6,583,477
6	フィリピン	6,049,601
7	グアテマラ	4,341,564
8	アンゴラ	4,036,959
9	タンザニア	3,406,936
10	コロンビア	2,914,419

FAO(国連食糧農業機関)の資料より

バナナと沖縄

総務省の家計調査を見てみましょう。右の表は果物の年間購入金額です。那覇市も全国もバナナが果物のトップです。バナナに関しては那覇市が全国の金額を上回っていますね。

また、下のグラフは国産バナナの収穫量です。農林水産省の資料によると、2018年の収穫量は143トンで、そのうち6割が沖縄産です。島バナナと呼ばれ、その希少性から非常に高価である一方、民家の庭木に島バナナが実っていたりします。沖縄県民にとってバナナは身近な存在なのです。



生鮮果物品目別購入金額
(総世帯・2020年)

(単位：円)

品目	那覇市	全国
生鮮果物	22,395	30,854
バナナ	4,848	4,387
他の果物	4,822	3,808
みかん	3,009	3,640
りんご	2,554	4,107
いちご	1,256	2,792
キウイフルーツ	1,161	1,743
他の柑きつ類	1,130	2,117
ぶどう	943	2,551
すいか	896	1,059
柿	662	994
オレンジ	459	579
梨	343	1,368
メロン	239	876
桃	74	831

総務省統計局の家計調査より作成

農林水産省「特産果樹生産出荷実績調査」より作成

増加の要因及び今後の見通し

業界によると、バナナは皮をむくだけですぐ食べることができる手軽さに加えて、家計に優しい価格であるなどの理由から、コロナ禍の巣ごもり需要が消費拡大につながったと見えています。

また今後の見通しについて

1. 血圧を下げる GABA (ギャバ) を含んだ「機能性表示食品のバナナ」が注目されていること
2. 多様化する消費者の好みに応じて、糖度の高いもちりした食感の高地栽培バナナや、あっさりした食味の低地栽培バナナなど、さまざまなバリエーションのバナナを提供できること
3. コロナ収束後は外食産業やスポーツ大会の復活により、消失したバナナの需要が回復すると思われること
4. 生産国で安定した供給が引き続き見込めること

などの理由から、今後も緩やかではあるが、輸入は増加傾向で推移すると期待しているとのことです。

おわりに

祖先崇拝と祭祀が息づく沖縄でお供え用果物の定番であるバナナは、一説によると父の手を表していると言われています。果物が仏壇の左右一対に供えられると、バナナは子孫を両手で守っている祖先のように見えます。今年の旧盆 (8/20~8/22) はコロナ禍の緊急事態宣言中のため、残念ながら親戚一同が集まることはできませんが、ウサンデー (お供えしたものを下げる) したバナナを食べて無病息災と新型コロナの収束を願いたいものです。

本資料の引用は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
 本資料についてのお問合せ：沖縄地区税関 調査部 調査統計課 TEL 098-862-9650

1. パナナの輸入実績推移（沖縄）

（単位：トン、千円）

年	合 計				フィリピン		エクアドル		台 湾		マレーシア	
	数量	前年比	金額	前年比	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
1972 (S47)	7,233	-	359,414	-	1,224	65,535	3,515	166,328	2,493	127,551	-	-
1973 (S48)	9,395	129.9%	364,980	101.5%	6,708	232,634	667	34,679	2,020	97,667	-	-
1974 (S49)	7,615	81.1%	381,911	104.6%	6,356	306,833	275	16,628	984	58,450	-	-
1975 (S50)	7,596	99.8%	513,370	134.4%	6,345	420,440	374	21,964	877	70,966	-	-
1976 (S51)	7,459	98.2%	466,644	90.9%	6,527	391,744	474	35,327	458	39,573	-	-
1977 (S52)	7,162	96.0%	404,112	86.6%	6,287	345,108	332	16,393	543	42,611	-	-
1978 (S53)	7,100	99.1%	395,258	97.8%	5,699	314,366	1,107	54,921	295	25,971	-	-
1979 (S54)	6,815	96.0%	498,034	126.0%	5,316	377,981	801	37,028	698	83,025	-	-
1980 (S55)	7,280	106.8%	552,085	110.9%	6,832	504,881	238	14,632	210	32,572	-	-
1981 (S56)	7,424	102.0%	543,401	98.4%	7,316	530,381	33	1,913	75	11,107	-	-
1982 (S57)	6,959	93.7%	676,179	124.4%	6,947	673,928	-	-	12	2,251	-	-
1983 (S58)	5,636	81.0%	626,971	92.7%	5,612	623,168	-	-	24	3,803	-	-
1984 (S59)	6,325	112.2%	648,563	103.4%	6,325	648,563	-	-	-	-	-	-
1985 (S60)	6,522	103.1%	805,487	124.2%	6,519	805,096	-	-	3	391	-	-
1986 (S61)	7,560	115.9%	703,488	87.3%	7,554	702,704	-	-	6	784	-	-
1987 (S62)	8,473	112.1%	573,620	81.5%	8,463	572,396	-	-	10	1,224	-	-
1988 (S63)	8,743	103.2%	564,929	98.5%	8,739	564,563	-	-	4	366	-	-
1989 (H01)	7,994	91.4%	618,330	109.5%	7,994	618,330	-	-	-	-	-	-
1990 (H02)	7,364	92.1%	613,708	99.3%	7,364	613,708	-	-	-	-	-	-
1991 (H03)	7,582	103.0%	624,114	101.7%	7,582	624,114	-	-	-	-	-	-
1992 (H04)	8,003	105.6%	663,908	106.4%	8,003	663,908	-	-	-	-	-	-
1993 (H05)	7,472	93.4%	505,900	76.2%	7,472	505,900	-	-	-	-	-	-
1994 (H06)	6,877	92.0%	425,886	84.2%	6,877	425,886	-	-	-	-	-	-
1995 (H07)	7,498	109.0%	402,017	94.4%	7,498	402,017	-	-	-	-	-	-
1996 (H08)	7,105	94.8%	463,587	115.3%	7,105	463,587	-	-	-	-	-	-
1997 (H09)	8,621	121.3%	635,621	137.1%	8,621	635,621	-	-	-	-	-	-
1998 (H10)	8,345	96.8%	675,508	106.3%	8,345	675,508	-	-	-	-	-	-
1999 (H11)	8,976	107.6%	649,043	96.1%	8,976	649,043	-	-	-	-	-	-
2000 (H12)	9,253	103.1%	642,862	99.0%	9,253	642,862	-	-	-	-	-	-
2001 (H13)	8,573	92.7%	669,573	104.2%	8,573	669,573	-	-	-	-	-	-
2002 (H14)	9,027	105.3%	723,453	108.0%	9,027	723,453	-	-	-	-	-	-
2003 (H15)	9,948	110.2%	730,304	100.9%	9,260	690,781	688	39,523	-	-	-	-
2004 (H16)	9,804	98.6%	673,038	92.2%	9,041	628,397	752	43,648	11	993	-	-
2005 (H17)	9,745	99.4%	680,856	101.2%	8,817	623,080	928	57,776	-	-	-	-
2006 (H18)	9,371	96.2%	689,217	101.2%	8,533	634,798	838	54,419	-	-	-	-
2007 (H19)	8,632	92.1%	645,823	93.7%	8,598	643,422	33	2,192	-	-	1	209
2008 (H20)	9,390	108.8%	666,190	103.2%	9,390	666,190	-	-	-	-	-	-
2009 (H21)	10,923	116.3%	773,223	116.1%	10,923	773,223	-	-	-	-	-	-
2010 (H22)	9,872	90.4%	684,591	88.5%	9,872	684,591	-	-	-	-	-	-
2011 (H23)	9,894	100.2%	662,875	96.8%	9,894	662,875	-	-	-	-	-	-
2012 (H24)	10,235	103.4%	697,781	105.3%	10,235	697,781	-	-	-	-	-	-
2013 (H25)	9,590	93.7%	813,675	116.6%	9,590	813,675	-	-	-	-	-	-
2014 (H26)	9,499	99.1%	894,957	110.0%	9,499	894,957	-	-	-	-	-	-
2015 (H27)	9,050	95.3%	1,044,000	116.7%	9,044	1,042,982	-	-	5	1,018	-	-
2016 (H28)	7,509	83.0%	847,160	81.1%	7,509	847,160	-	-	-	-	-	-
2017 (H29)	7,526	100.2%	863,340	101.9%	7,355	843,612	171	19,728	-	-	-	-
2018 (H30)	7,648	101.6%	856,983	99.3%	7,648	856,983	-	-	-	-	-	-
2019 (R01)	10,937	143.0%	1,161,406	135.5%	10,929	1,159,804	-	-	7	1,602	-	-
2020 (R02)	11,473	104.9%	1,234,936	106.3%	11,164	1,207,204	311	27,732	-	-	-	-
2019年1-6	5,331	137.6%	562,842	129.8%	5,331	562,842	-	-	-	-	-	-
2020年1-6	5,655	106.1%	609,684	108.3%	5,579	602,766	78	6,918	-	-	-	-
2021年1-6	5,470	96.7%	599,055	98.3%	5,217	575,117	255	23,938	-	-	-	-

※1972 (S47) 年分は5月15日以降の実績。

※1975 (S50) 年までは輸入統計品目番号「051-300」、1976 (S51) 年から1978 (S53) 年までは同「08.01-110」、1979 (S54) 年以降は概況品コード「0110103 (バナナ (生鮮))」の実績。



2. バナナの輸入実績推移（全国）

（単位：千トン、百万円）

年	合 計		フィリピン		エクアドル		メキシコ		台 湾		その他	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
1979 (S54)	790	42,509	682	35,527	8	349	-	-	100	6,633	-	-
1980 (S55)	726	43,439	642	35,962	1	87	-	-	83	7,390	0	1
1981 (S56)	708	49,254	644	42,744	5	374	-	-	58	6,103	0	33
1982 (S57)	758	59,958	681	49,160	2	177	-	-	74	10,621	-	-
1983 (S58)	576	54,919	469	43,722	6	471	-	-	97	10,289	4	438
1984 (S59)	682	60,817	580	50,600	3	217	-	-	99	10,000	-	-
1985 (S60)	680	72,129	560	59,927	22	1,534	-	-	99	10,663	0	5
1986 (S61)	765	63,804	620	52,118	57	3,918	-	-	82	7,506	5	262
1987 (S62)	775	53,426	570	38,360	80	5,085	-	-	108	8,993	17	988
1988 (S63)	760	55,539	600	43,575	70	4,561	-	-	85	7,138	5	265
1989 (H01)	774	60,706	620	46,769	85	6,953	-	-	62	6,583	7	401
1990 (H02)	758	60,770	585	45,475	125	10,509	-	-	33	3,899	14	886
1991 (H03)	803	62,621	587	44,466	135	10,046	-	-	54	6,646	27	1,463
1992 (H04)	777	66,219	547	46,174	152	11,892	0	5	66	6,921	13	1,227
1993 (H05)	913	52,893	669	36,998	153	8,489	0	28	65	6,536	26	842
1994 (H06)	929	44,185	685	29,568	147	7,214	0	34	56	5,766	41	1,602
1995 (H07)	874	40,908	678	29,820	137	6,029	0	43	41	4,039	17	976
1996 (H08)	819	47,094	616	33,499	138	7,099	1	129	51	5,491	13	876
1997 (H09)	885	52,646	653	35,583	186	11,458	1	179	36	4,647	8	780
1998 (H10)	865	61,515	620	41,450	158	10,997	2	259	56	6,789	28	2,020
1999 (H11)	983	62,593	727	43,479	197	12,567	2	211	45	5,156	13	1,180
2000 (H12)	1,079	59,301	811	41,884	211	12,052	1	166	42	4,104	13	1,097
2001 (H13)	991	54,801	781	40,408	171	10,652	2	263	25	2,473	11	1,005
2002 (H14)	936	65,028	744	51,371	157	9,917	3	325	25	2,585	8	830
2003 (H15)	987	62,851	796	50,032	146	8,312	3	353	34	3,360	9	793
2004 (H16)	1,026	63,746	870	53,448	123	6,986	3	357	18	1,931	12	1,023
2005 (H17)	1,067	64,706	944	56,176	91	5,479	4	406	15	1,621	12	1,024
2006 (H18)	1,044	65,560	911	55,352	101	6,540	4	462	16	2,119	12	1,088
2007 (H19)	971	68,616	879	60,792	52	3,670	5	527	19	2,181	16	1,445
2008 (H20)	1,093	85,440	1,019	78,858	46	3,151	5	570	9	1,730	13	1,131
2009 (H21)	1,253	94,420	1,159	86,724	62	4,429	5	456	9	1,343	18	1,469
2010 (H22)	1,109	74,398	1,035	68,624	46	3,173	4	314	10	1,187	15	1,100
2011 (H23)	1,064	71,999	1,004	67,372	34	2,274	3	246	8	1,072	14	1,036
2012 (H24)	1,086	70,827	1,027	66,297	36	2,408	3	240	8	976	12	906
2013 (H25)	975	79,589	909	73,358	41	3,565	3	299	7	1,042	15	1,326
2014 (H26)	947	85,734	874	78,645	48	4,455	3	327	4	713	17	1,594
2015 (H27)	960	102,102	825	87,535	101	10,725	4	524	3	618	27	2,700
2016 (H28)	957	100,415	751	81,022	158	14,829	9	827	2	306	38	3,431
2017 (H29)	986	95,047	791	76,874	147	13,585	20	1,976	1	219	27	2,392
2018 (H30)	1,003	100,610	838	85,247	111	9,943	28	2,761	2	297	24	2,361
2019 (R01)	1,045	104,356	837	84,507	119	10,808	54	5,236	3	488	32	3,316
2020 (R02)	1,068	105,213	804	81,192	136	11,848	80	7,308	3	627	45	4,239
2019年1-6	514	51,409	415	41,832	58	5,308	23	2,283	2	346	16	1,639
2020年1-6	541	53,475	413	41,612	67	5,876	36	3,434	3	511	22	2,042
2021年1-6	558	55,405	422	42,714	69	5,990	38	3,553	2	397	27	2,751



取材協力：那覇青果物卸商業協同組合（AEO・特定保税承認者）

